

特別支援学校から就労先への引継ぎ

職場定着のために活用できます！

～みんなが安心できる「個別の移行支援計画」～

◎関係機関等が連携して特別支援学校卒業生の「働く」「暮らす」「楽しむ」を支えるための役割分担計画です。本人・保護者、関係機関の承諾を得た上で、出身校から就労先等へ引き継ぎます。



様式例

個別の移行支援計画

本人のプロフィール				記入者
ふりがな氏名		男女	生年月日	(S・H)年月日生
保護者		家族構成		
住所			連絡先	
出身校		担任		連絡先
将来の生活についての希望				
本人	本人、保護者の「働く」「暮らす」「楽しむ」の願いが記載されています。			
保護者				
必要と思われる支援内容				
	具体的支援			備考
家庭生活	担当者・連絡先：父、母、祖父 内 容：通勤時の不測の事態への対応の練習（電話連絡、時刻表の見方など）、生活リズムを整える支援			
余暇・地域生活	担当者・連絡先：〇〇障害者就業・生活支援センター 内 容：余暇活動の情報提供			
進路先の生活	担当者・連絡先：株式会社●●（担当：） 内 容：職場への定着に関する支援 ・月に一度、面談を行い、困りごとがないか確認する。 ・指示をメモ帳に書くことを促し、確認する。 担当者・連絡先：〇〇障害者就業・生活支援センター 内 容：勤務状況確認、本人・事業所に対する継続的な相談支援			
医療・健康	担当者・連絡先：△△医院 内 容：通院時の治療			
出身校の役割	担当者・連絡先：卒業時担任、進路指導担当 内 容：卒業後の職場訪問、同窓会・青年学級の案内送付			
その他	担当者・連絡先： 内 容：			
備考：				

就労先が行う具体的な支援について相談の上、記載されます。

本人を支援する関係機関が記載されます。
相談内容に応じて障害者就業・生活支援センター、障害者職業センターのジョブコーチ等に連絡します。

卒業後3年をめどに、出身校でも支援を継続して行います。困ったこと、相談がありましたら連絡してください。

以上の支援計画について了承し、必要に応じ支援関係者に開示することに同意します。
令和 年 月 日
氏名（自筆）
保護者
※これは、支援の計画であり、契約ではありません。

「働きたい」「働き続けたい」を支える関係機関一覧

◎特別支援学校

学 校 名	所 在 地	連 絡 先
県立視覚支援学校	秋田市南ヶ丘一丁目1番1号	018-889-8571
県立聴覚支援学校	秋田市南ヶ丘一丁目1番1号	018-889-8572
県立秋田さらし支援学校	秋田市南ヶ丘一丁目1番1号	018-889-8573
県立比内支援学校	大館市比内町達子字前田野1-2	0186-55-2131
県立比内支援学校かつの校	鹿角市花輪字案内2	0186-22-0253
県立比内支援学校たかのす校	北秋田市七田市字家向49の内	0186-66-2128
県立能代支援学校	能代市真壁地字トメキ沢135番地	0185-55-0691
県立支援学校天王みどり学園	潟上市天王字追分西27番地の18	018-870-4611
県立栗田支援学校	秋田市新屋栗田町10-10	018-828-1162
県立ゆり支援学校	由利本荘市水林456-3	0184-27-2630
県立ゆり支援学校道川分教室	由利本荘市岩城内道川字井戸ノ沢84-40 独立行政法人国立病院機構あきた病院内	0184-62-6136
県立大曲支援学校	大仙市大曲西根字下成沢122番地	0187-68-4123
県立大曲支援学校せんぱく校	仙北市角館町小館77番地2	0187-42-8568
県立横手支援学校	横手市赤坂字仁坂105番地1	0182-33-4166
県立稲川支援学校	湯沢市駒形町字八面寺下谷地33-2	0183-42-4424
秋田大学教育文化学部附属特別支援学校	秋田市保戸野原の町7-75	018-862-8583

◎ハローワーク

名 称	所 在 地	連 絡 先
鹿角公共職業安定所	鹿角市花輪字荒田82-4	0186-23-2173
大館公共職業安定所	大館市清水一丁目5-20	0186-42-2531
大館公共職業安定所鷹巣出張所	北秋田市鷹巣字東中岱26-1	0186-60-1586
能代公共職業安定所	能代市緑町5-29	0185-54-7311
秋田公共職業安定所	秋田市茨島一丁目12-16	018-864-4111
ハローワークプラザアトリオン	秋田市中通2-3-8(アトリオン3F)	018-836-7820
ハローワークプラザ御所野	秋田市御所野地蔵田3-1-1(秋田テルサ3F)	018-889-8609
秋田公共職業安定所男鹿出張所	男鹿市船川港船川字新浜町1-3	0185-23-2411
本荘公共職業安定所	由利本荘市石脇字田尻野18-1	0184-22-3421
大曲公共職業安定所	大仙市大曲住吉町33-3	0187-63-0335
大曲公共職業安定所角館出張所	仙北市角館町小館32-3	0187-54-2434
横手公共職業安定所	横手市旭川一丁目2-26	0182-32-1165
湯沢公共職業安定所	湯沢市清水町四丁目4-3	0183-73-6117

◎障害者就業・生活支援センター

支 援 地 域	セ ン タ ー 名	所 在 地	連 絡 先
大館市・鹿角市・小坂町	秋田県北障害者就業・生活支援センター	大館市字泉町9-19	0186-57-8225
北秋田市・上小阿仁村	北秋田障害者就業・生活支援センター	北秋田市宮前町9-67	0186-67-6003
能代市・三種町・八峰町・藤里町	秋田県能代山本障害者就業・生活支援センター	能代市通町9-55	0185-88-8296
秋田市・男鹿市・潟上市・五城目町・八郎潟町・井川町・大潟村	ウェルビューいずみ 障害者就業・生活支援センター	秋田市泉菅野2-17-27	018-896-7088
由利本荘市・にかほ市	由利本荘・にかほ圏域障害者就業・生活支援センター E-Support	由利本荘市二番堰25-1 由利本荘地域生活支援センター内	0184-44-8578
大仙市・仙北市・美郷町	秋田県南障害者就業・生活支援センター	大仙市大曲戸巻町2-68	0187-88-8713
横手市	ネット横手障害者就業・生活支援センター	横手市梅の木町8-5	0182-23-6281
湯沢市・羽後町・東成瀬村	湯沢雄勝障害者就業・生活支援センター ばあとなあ	湯沢市字両神15-1	0183-55-8650

◎独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構秋田支部 秋田障害者職業センター

〒010-0944 秋田市川尻若葉町4-48 TEL 018-864-3608

問合せ先：秋田県教育庁特別支援教育課 TEL 018-860-5135

職場への
定着を
目指しています

特別支援学校卒業生の
働きたい！
働き続けたい！
を応援してください

秋田県教育委員会

卒業生が職業生活を送る上で困ったことがあれば、記載されている関係機関等に連絡をしてください。連携をして職場定着に向けた支援を行います。

はじめに

特別支援学校卒業生の就職希望者の就職率は、法定雇用率の引き上げや各校の職業教育、進路指導の充実により高い水準を維持しています。一方で、就職後に何らかの理由で離職するケースが見られ、就職後3年で**約3割の卒業生が離職**しています。

職場定着については、卒業生が働く意欲をもち続け、周囲の方々が障害を理解し、働く上での配慮(※「合理的配慮」)の提供をしていくことがポイントとなります。

職場に定着し、社会的・職業的自立を図り、地域の中で生き生きと生活していくためには、就労先の方々の支援も大切となります。ぜひ、卒業生の**「働きたい！働き続けたい！」**を支えていただきますようお願いいたします。

※雇用分野での「合理的配慮」とは・・・

障害者と障害者でない人の均等な待遇の確保または障害者の能力の有効な発揮の支障となっている事情を改善するための措置のことを言います。障害者一人一人の状態や職場の状況などに応じますので多様で個性が高いものです。具体的にどのような措置をとるかについては、よく話し合った上で決めていくことになります。

check 特別支援学校卒業生には、
次のような障害があります。
障害によって困っていることを御理解ください。

知的障害

他人との意思交換、日常生活や社会生活、安全、仕事、余暇利用などの適応について支援や配慮が必要な状態。

【困っていること】
指示理解、コミュニケーション等

精神障害

何らかの原因による精神疾患のため、精神機能の障害が生じ、日常生活や社会生活に困難をきたしている状態。

【困っていること】
長時間続けた作業等

発達障害

生まれつき脳の機能や発達の一部に障害がある状態。

【困っていること】
環境への適応、コミュニケーション等

秋田県発行の「**障害を正しく理解するためのハンドブック**」もご参照ください。
URL <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/10214>

視覚障害

視機能の低下により、生活に支障がある状態。

【困っていること】
文字の読み書き、移動、相手の表情の読み取り等

聴覚障害

身の回りの音や話し言葉が聞こえにくかったり、ほとんど聞こえなかったりする状態。

【困っていること】
コミュニケーション等

肢体不自由

身体の動きに関する器官が、病気やけがで損なわれ、歩行や筆記などの日常生活動作が困難な状態。

【困っていること】
移動や長時間続けた作業等

病 弱

心身の病気のため弱っている状態。

【困っていること】
長時間続けた作業等

特別支援学校卒業生の主な離職理由と支援のポイント

離職理由

① 職場での人間関係がうまくいかない

- ・周りの人たちとのコミュニケーションがとれず、上司から厳しい叱責を受けている。
- ・注意や指示を素直に受け入れられない。
- ・特定の職員に苦手意識がある。



離職につながる例

同僚から仕事中にからかわれたり、笑われたりして、孤立していると感じ、出勤を渋りがちになってきた。

支援のポイント

- 明るい挨拶、分かりやすい言葉掛けを工夫して接する。
- 昼食を一緒に食べたり、休憩を一緒にとったりするなど、仲間意識をもてるように配慮する。
- 専門家による障害者とのコミュニケーションについての研修会を行い、意識して対応する。
- 同僚の中から信頼できる相談相手となるキーパーソンを置く。

離職理由

② 仕事内容が変わった

- ・仕事内容が変わり、上司に「難しい」と相談したがフォローがなかった。
- ・早番、遅番に対応できない段階であったが、やってほしいと言われた。
- ・要求される仕事内容やスピードについていけなくなった。



離職につながる例

仕事量が増え、多くの種類の作業をしなくてはならず、対応できない。作業ができなくて注意されることが多く、嫌になってきた。

支援のポイント

- 話しやすい環境・人・雰囲気をつくり、本人の仕事内容に対する考えを聞き取る。
- 対応については、上司や人事担当者が「本人が頑張って解決すること」と「職場で支援をして解決すること」に分けて整理する。
- 「仕事の内容を一つずつ簡潔に指示する」「仕事の順番をメモで示す」など本人に合わせた指示の出し方を工夫する。

離職理由

③ 生活面で問題が発生した

- ・生活リズムが乱れ、仕事に影響している。
- ・一人暮らしで、話を聞いてくれる人がいないなど身近な支えがなかった。



離職につながる例

給料を好きなだけ使ったり、夜遅くまで遊び、朝起きられず、遅刻や欠勤したりすることが増えてきた。

支援のポイント

- ◆**行動の背景を探り、支援のヒントにする。**
- 生活環境の変化についていけない場合は、働くこと、生活すること、楽しむことの時間の整理をする。
- 金銭感覚が身に付いていない、金銭管理が困難な場合は、給料の使いみちについて相談しながら決める。
- 働く意義の認識が不足している場合は、「働く意義」「欠勤することでの職場への影響」などを伝える機会をつくる。

職場定着に向けた関係機関との連携

職場や職場以外での問題を整理し、連携して対応します。卒業生を支える関係機関には、次のようなところがあります。

◆ハローワーク

障害者を雇用している事業者に対して、雇用管理上の配慮等についての助言を行います。必要に応じて、障害者職業センター等の専門機関の紹介を行います。

◆障害者就業・生活支援センター

就職を希望、またはすでに就職している人を対象に、その家族や支援者、就労先から障害者の就業や生活面における各種の相談に応じます。支援に当たっては、その居住する地域の雇用、保健、福祉、教育等の連携拠点になります。

◆秋田障害者職業センター

障害者や事業主に対し、ハローワークや福祉・医療・教育分野の関係機関と密接な連携を取りながら、就職のための相談・支援、就職後のフォローアップ、復職のための相談・支援まで一連の就労支援を行っています。

障害者が職場に適応できるよう、ジョブコーチが職場に出向いて雇用後の職場適応支援を行います。障害者自身に対する支援に加え、事業主や職場の従業員に対しても、障害者の職場適応に必要な助言を行い、必要に応じて職務の再設計や職場環境の改善を提案します。